

講座報告

大自然で深める家族の絆

～チャレンジ！森のアドベンチャー～

日 時：令和2年10月4日（日） 10：00～15：00

場 所：十種ヶ峰青少年自然の家

受講生：親子15組（大人24人 子ども21人）



<講座内容>

3グループ+1に分かれ、主に森のチャレンジコースにて各プログラムを体験しました。未就学児については「がみねの森」およびチャレンジコース内で活動をサポートいただきました。

森のチャレンジコースでは、ローエレメントを主とし、三密、接触を避けたいうえで、家族およびグループ間で相互に協力し合い活動を行いました。

山口県十種ヶ峰青少年自然の家

「とくさがみね森のチャレンジコース」とは？

このコースは、体験学習であるPA（プロジェクトアドベンチャー）の手法を最大限に活用し、「ファシリテーター」と呼ばれる専門性のある指導者が活動を支援することで、比較的短時間でも高い教育効果を上げることができるよう設計されています。丸太やロープ、ワイヤーを大規模に組み合わせた構造で、地上約10mに設置されたハイエレメント及び低い位置に設置されたローエレメント、計49基からなる西日本最大級の施設となっています。

このチャレンジコースで、様々な活動やアドベンチャーを体験することにより、

- ・協力する心や思いやりの心を育て、互いに信頼し合う心を高めます。
- ・新しいことや困難なことに挑戦するチャレンジ精神を高めます。

※PAとは、元々アメリカの教師たちが、「大自然で、長期に、グループで」開催されるOBS（アウトワード・バウンド・スクール＝世界的な冒険教育機関）の冒険教育の著しい教育効果に着目し、その概念や手法を学校教育に取り入れるという目的で開発されてきた様々なプログラムの体験学習です。

（十種ヶ峰青少年自然の家 ホームページより）

グループ別にオリエンテーション後、森のチャレンジコースにいざ出発！



移動の合間にも、緊張をときほぐす活動を取り入れ、グループ内のコミュニケーションをはかります。



「たのもー」
(刀を使った
指示ゲーム)



「フライングチキン」(鳥のぬいぐるみ
でキャッチボール)

自己紹介



UBUNTU (ウブンツ) カードを使って。共通
点を探すと会話がしやすくなりました。



「ネームトス」輪投げをし
ながらの自己紹介。

ジャイアントシーソー (大きな板状のシーソーの上をバランスをとりながら移動します。)



“船”に乗って海へホ
エールウォッチング。
揺れると波がざぶーん
と。クジラが逃げない
ようにそっと動きます。

「みんなで協力するこ
とが大切だね。」(振り
返りより)

トラストリーン

(二人一組になり、ゆっくり後ろに倒
れます。後ろの人は支え、重さを体感
します。)

お父さんもお母さんも、子どもに身を任
せてみました。実際に体験することで、
相互の信頼関係を築いていきます。



トラバースウォール（クライミングの壁を横に移動していきます。）



手や足の位置をアドバイス。

「ここまで行きたい」の目標にチャレンジ、達成感を味わいました。

ニトロクロッシング（島から島に空中ブランコのように渡ります。）



本来は、『グループ全員が協力し合い小さい板（島）に乗る』というプログラムですが、新型コロナウイルス対策として小島をつくり間隔をとりました。接触は親子に限定し、親のサポートをもって子どもがうまく渡れるよう助ける体験を主として行いました。

テンショントラバース（ワイヤーを張った上を綱渡りします。）



「がんばれ！」みんなが応援してくれました。

【この他にいったクリエイション】

- ☆ネーム回し
- ☆なぞなぞ
- ☆カウント・オフ
- ☆ステップイン・ステップアウト

未就学の方々には、「がみねの森」での自由活動を行っていただきました

- ・そりすべり
- ・ブランコ
- ・スラックライン
- ・ハンモック
- ・綱登り





A グループ



B グループ



C グループ



未就学、つきそいの方々



参加者の皆さんは、親子で会話を楽しみながら、時に支え合い、プログラムに挑戦されていました。

ふりかえりの中で「皆で意見を出してクリアすると充実感があった」などの意見がありました。

最初はぎこちなかった初対面の家族ともだんだんにうちとけ、たがいに協力しながら活動を行う様子がみられました。

アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介



★ふだん、なかなか外で遊ぼうとしないのですが、めずらしく自分から見つけて興味をもって言ってきたので申し込みました。意外にとっても楽しんでいて、やったことのないことや、難しかったことも自分からチャレンジしていたのでうれしい驚きでした。親子でチャレンジするよい機会となりました。ありがとうございます。これを機にまた外での遊びなど一緒にできればと思います。また自然とほかのお子さんやご家族とも会話したり、励ましあったりできました。

★初対面でも同じことをやることで仲良くなったりしてとても良かったです。みんなで順番を決めたり、話合ったりすることが、普段はしないので良い経験になりました。目標を決め

てから結果がどうなったか、真剣に取り組んでいる様子がみられてよかったです。

★自然の中で、他のご家族の方々とふれあいながら遊ぶことは、娘にとってなかなかできない体験で、有意義な一日でした。また機会があれば参加したいです。

★初めて参加し、自然の中で運動し、家族で協力して行うことができ、とてもよい体験になりました。また、家族で参加するイベントがあれば、参加したいです。

★天候に不安を持っていましたが、自然の中で体と頭を使って楽しむことが出来て嬉しく思いました。なかなか日頃より外で体を動かす機会も少なく、貴重な時間でした。ありがとうございました。

★楽しかった。けれど、もう少しアスレチックができると思っていたので残念。1つの課題にかける時間が長く、もう少しコンパクトにいろいろやってみたかった。

★様々なアドベンチャーを通して、参加者全員が助け合い、協力し合い、分かち合い、親と子の絆だけでなく、一緒に参加した家族同士の絆も育まれた気がします。

(子ども感想より)

・とくにシーソーみたいなやつがたのしかったです。ほかにもたのしかったやつがありますが、1ばんたのしかったのがやっぱりシーソーだなとおもいました。ちょうせんしなかったやつもありますがあとからやってみようかなとおもってつぎからはがんばりました。すごくおもしろかったしのしくもなりました。(1年)

・ばったがとれてたのしかったです。ゆうぐもたのしかったです。(1年)

・さいしょにふねがありました。とびはねるほどたのしかったです。さいごにてつひもをしました。ふつうのひもをわたっていたようでした。とてもたのしかったです。

・ロープでつなをわたるのがたのしかったです。(1年)

・これで、トレジャーハンターになれます。(1年)

・ジャンボシーソーがむずかしいと思いました。なぜかと言うと、みんなときょうかしあうのでたいへんでした。(2年)

・ちょっとむずかしいところがあつたけど、たのしかったです。またやりたいです。(2年)

・いろいろしてとても楽しかったです。中でも川をまたぐ(ひもでわたる)ことが楽しかったです。またやりたいと思いました。木でつくられたボートもたのしかったです。すべて楽しいなと思いました。(2年)

・きょう一番楽しかったのは、ジャイアントシーソーです。わけは、ドーンと音がでてしたにおちてびっくりしたからです。(2年)

・外でいろんなことができよかったです。天候もよく、外で活動できたのがとてもうれしかったです。(3年)

・アーリーと虫(バッタ)などをつかまえられてたのしかった。ゆうぐでいちばんたのしかったのは、ロッククライミングがたのしかった。またきてほかのゆうぐとかであそびたい。(3年)

・足と手の力をいっぴいつかって手と足がすごくいたくなつたけどみんなすごく上手にできていてすごいと思いました。楽しかったです。(3年)

・ふだんできないことができるともいいたいけんだったと思います。またやりたいです。(3年)

・最初の船はバランスをとるのがむずかしかったけど、やっていたら、どんどんバランスがとれてきておもしろかった。ターザンはさいしょより広くしてもだいじょうぶだなと思ったけど、むずかしかったです。下でやった、アスレチックは、すこしすすめたら、すごいうれしかったので、次の森のアドベンチャーも来てみたいです。(3年)

・シーソーは、バランスをとるのがむずかしかったです。島から島にとびやつは、こわくてできませんでした。楽しかったです。(3年)

・ふだん、体験ができない遊具がたくさんありました。ワイヤーみたいなものをわたる遊具は、ロープをもっているけど、ワイヤーがゆらゆらしてこわかったです。同じグループの子とも友だちになれてうれしかったです。きのこもみつけました。ぜんぶ、すごく楽しかった

です。雨が心配だったけどよかったです。（4年）

・今日は、つなわたりや、船のり、色々なことをして、とっても楽しかったです。また、イベントがあればできるだけ来ようと思います。（4年）

・シーソーに乗るのが一番楽しかったです。今日はとてもつかれたけど、また、自然の家に行ってシーソーでまた遊びたいです。（5年）

・あしもてもつかってたのしかった。きついところもたのしかった。またいきたいなあ。（6歳）